

令和2年度喜多方市社会福祉協議会事業報告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

I 総務事業部門

1. 法人の運営

(1) 理事会・評議員会の開催

【理事会】

令和2年 6月 3日

【書面決議】

- ※事業経過報告（会長の職務執行報告）
- 令和元年度事業報告について
- 令和元年度社会福祉事業会計収支決算について
- 令和2年度定時評議員会の開催について
- 評議員候補者（補欠）推薦者の選任について

令和2年 7月 22日

【書面決議】

- 評議員候補者（補欠）推薦者の選任について

令和2年12月17日

※事業経過報告（会長の職務執行報告）

※令和2年度上期事業報告並びに収支状況報告

- 令和2年度社会福祉事業会計収支補正予算＜第1次＞
について
- 令和2年12月評議員会の開催について

令和3年 3月 19日

※事業経過報告（会長の職務執行報告）

○令和2年度社会福祉事業会計収支補正予算＜第2次＞ について

- 令和3年度事業計画について
- 令和3年度社会福祉事業会計収支予算について
- 役員報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
- 嘱託職員等雇用管理規程の一部改正について
- 喜多方市社会福祉協議会訪問入浴介護事業所の事業廃止
について
- 令和3年3月評議員会の開催について

【評議員会】

- 令和2年 6月24日 **【書面決議】**
※事業経過報告（会長の職務執行報告）
○令和元年度事業報告について
○令和元年度社会福祉事業会計収支決算について
- 令和2年 7月30日 **【書面決議】**
○理事（補欠）の選任について
- 令和2年12月25日 ※事業経過報告（会長の職務執行報告）
※令和2年度上期事業報告並びに収支状況報告
○令和2年度社会福祉事業会計収支補正予算＜第1次＞
について
- 令和3年 3月29日 ※事業経過報告（会長の職務執行報告）
○令和2年度社会福祉事業会計収支補正予算＜第2次＞
について
○令和3年度事業計画について
○令和3年度社会福祉事業会計収支予算について
○役員報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
○嘱託職員等雇用管理規程の一部改正について
○喜多方市社会福祉協議会訪問入浴介護事業所の事業廃止
について

(2) 監事会の開催並びに会計指導の実施

【監事会】

- 令和2年 5月22日 ○令和元年度事業並びに社会福祉事業会計収支決算に
ついての監査
- 令和2年12月 8日 ○令和2年度上期事業並びに社会福祉事業会計についての
監査

【委嘱会計事務所による会計指導】

- 令和2年 5月11日 ○令和元年度決算に係る会計指導
- 令和2年12月 2日 ○令和2年度上期決算に係る会計指導

(3) 評議員選任・解任委員会

- 令和2年 6月11日 **【書面決議】** ○評議員（補欠）の選任について
- 令和2年 8月11日 **【書面決議】** ○評議員（補欠）の選任について

(4) 苦情解決第三者委員会

令和3年 3月29日 ○令和2年度苦情受付・対応状況について

(5) 役員・評議員候補者推薦委員会

令和2年 5月19日 【書面決議】○評議員推薦候補者（補欠）の選定について

令和2年 7月14日 【書面決議】○理事・評議員推薦候補者（補欠）の
選定について

(6) 正副会長会議の開催

令和2年 5月27日 ○理事会、評議員会の提出議案についての協議

令和2年12月14日 //

令和3年 3月16日 //

(7) 役員・評議員に対する研修の充実

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(8) 賛助会員の拡充

例年、8月を賛助会員増強月間と位置づけ訪問活動による協力依頼を行ってきたが、新型コロナウイルス感染の拡大による経済活動の低迷、業績不振などが見受けられるため、本年度は郵送による協力依頼に切り替えた。

尚、未加入であって取引のある企業、事業所には趣旨を説明のうえ、新規加入の依頼を行った。

(9) 第16回喜多方市社会福祉大会の開催

福祉に携わる公私の機関、団体、市民の皆さんが一堂に会し、社会福祉に関する理解を深め、更なる充実に向けた啓発を図る機会とするとともに、多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった方々を顕彰し、感謝の意を表するため社会福祉大会を開催した。

尚、新型コロナウイルス感染拡大を予防するため、規模縮小、時間短縮を図った。

開催日 令和2年11月22日（水）

会場 喜多方市総合福祉センター

表彰 社会福祉大会長表彰 2件、社会福祉大会長感謝 7件
県共同募金会長感謝（寄附） 22件（奉仕） 26件

記念講演 「ウィズコロナ下での健康管理」

喜多方医師会 会長 三橋彦也 先生

参加者 140名

(10) 第74回福島県社会福祉大会（喜多方市開催）への協力

10月29日に喜多方市プラザを会場に開催された第74回福島県社会福祉大会に、運営スタッフとして協力した。

(11) ふれあい社会福祉講座の開講

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(12) 『社協だより』の発行とホームページ・フェイスブックによる情報発信

①社協だより・・・社協の事業や福祉に関する情報、各種福祉団体の活動紹介など総合的な福祉情報の提供をするため全戸に配付

発行：5月1日、8月1日、11月1日、2月1日 発行部数：18,500部

②情報発信ツールの利活用・・・本会の事業内容を幅広い市民層に周知するためホームページ及びフェイスブックを活用し情報発信した。

※ホームページアドレス <http://www.kitakata-shakyo.or.jp>

※フェイスブックアドレスについては本会ホームページより参照

(13) 成年後見制度・法人後見調査研究事業（地域福祉課部門に記載）

(14) 児童館の活動支援

父母の共働きや疾病、その他の理由により十分な保護育成ができない世帯等の児童に、健全な遊びや運動・製作活動・社会研修等を体験させる児童館等運営事業に、児童厚生員を配置しその運営支援に努めている。

また、新型コロナウイルス感染症による小学校の休校にあたっては、夏休み等の時期と同様に一日開館とし、児童の受け皿として対応した。

一斉休校等に伴う対応期間 令和2年4月23日～5月15日

児童の登録状況（R3.3現在）

放課後児童クラブ	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	備考
中央	16	27	21				64	
上三宮	0	2	0	1	4	4	11	
岩月	6	5	7	3	3	0	24	
関柴	11	5	13	4	0	0	33	
熊倉	8	9	9	5	3	1	35	
慶徳	11	9	3	2	4	3	32	
豊川	14	6	8	6	4	1	39	

喜多方				7	1	5	94	二小×1クラス	13名
	32	28	21					児童クラブ館	81名
松山	17	11	12	9			49		
しきみ			14	2	3	1	85	一小	20名
	38	15		10	0	2		NTT	65名
計	153	117	108	49	22	17	466		

※旧喜多方市内児童クラブ10館の運営一部受託

(15) 介護職員養成・定着化事業（介護パワーアップ事業）

1) 介護職員初任者研修

地域における介護職員不足の解消を図るため、介護人材の育成を目的として介護職員初任者研修を実施した。

・夜コース 令和2年8月25日から12月15日まで 受講者18名

2) キャリアアップ研修支援事業

市内施設勤務の介護職員等の初任者研修受講・実務者研修受講及び介護福祉士の資格取得を促進し、従業者の安定的雇用につなげるため研修費用を助成する。

※説明会の開催、説明会資料の郵送により市内介護事業所に周知を図っている

支援実績：実務者研修受講費助成 0件

初任者研修受講費助成 3件

3) 介護職員就労定着奨励金事業

介護職として市内の同一事業所に1年以上就業した者に対し奨励金を支給した。

市内在住者 19名 市外在住者 9名

(16) 家族介護者交流事業（リフレッシュ事業）の実施

在宅で高齢者等を介護する市民の方を対象に、心身の負担軽減と同じ介護者同士の交流を目的とし、家族介護者交流事業（リフレッシュ事業）を実施した。

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため宿泊リフレッシュは中止）

・日帰りリフレッシュ事業（令和2年10月9日）

参加者：10名 行先：リステル猪苗代ほか

(17) 火災等災害見舞金交付事業

火災や風水害等の自然災害の被災者に対し、地域福祉の住民相互のたすけあいの趣旨に基づき災害見舞金を交付した。

住居全焼 4件

死亡 3名

(18) 健康事業所宣言と職員の健康維持向上の取組み

福島県と協会けんぽ福島支部との共催事業である「健康事業所宣言」事業に参加し、今年度のメインプランを「高血圧対策」とし、職員に対する啓蒙啓発を行っている。

(19) 職員の資質向上

職制、職種に応じた内部キャリアパス研修として、新任職員研修、新任管理者研修を行ったほか、福島県社会福祉協議会等が主催する外部研修、オンライン研修に参加させた。

(20) 福祉避難所の開設

大雨による洪水や土砂災害に備え、喜多方市からの要請により高齢や障がい、妊産婦等の配慮が必要な避難者の受入れのため、福祉避難所を開設した。

開設期間 : 令和2年7月29日～30日

開設施設 : 喜多方市総合福祉センター

避難者 : 4名(1世帯)

その他 : 夢の森、いきいきセンター、しゃくなげホーム、かたくり荘では避難者受入の準備を行った。

2. 福祉施設の管理運営

(1) 喜多方市総合福祉センターの管理運営

総合福祉センターの管理については、その目的達成のため最良な管理に努めた。また、高齢者福祉センターについては、高齢者の憩いの場として、また各種会合などに市民の方々から広く利用された。

高齢者福祉センター 利用人員 12,117名(開館日数 282日)

多目的ホール 利用者数 3,043名(利用回数 152回)

2階会議室 利用者数 1,692名(利用回数 125回)

***新型コロナ緊急事態宣言により4/22～5/18まで休館**

***囲碁・将棋の利用は4/22～6/21まで休止**

(2) 熱塩加納保健福祉センター「夢の森」の管理運営

市内で開催されたイベント等でのパンフレット配布、観光案内所、道の駅、コンビニエンスストア等にパンフレットの設置、更には、近隣の道路にのぼりを立てるなどし、誘客に努めた。

保養施設(温泉入場者) 営業日数 211日 延利用者数 35,139名

運動施設(ゲートボール場) 利用日数184日 延利用者数 2,197名

***新型コロナ緊急事態宣言により4/22～5/18まで休館(運動施設も休館)**

***給湯水配管工事のため9/1～11/30まで休館(運動施設は開館)**

(3) 塩川保健福祉センター「いきいきセンター」の管理運営

パンフレットの配布や、季節ごとに粗品を配布するなど、引き続きご利用いただけるようにPRを行った。

保養施設（温泉入場者）営業日数 284日 延利用者数 22,966名

巡回福祉バス運行 運行日数 42日 延利用者数 924名

***新型コロナ緊急事態宣言により4/22～5/18まで休館**

(4) 生活支援ハウス事業（しゃくなげホーム・かたくり荘）

一人暮らし高齢者等を対象として、安全で安定した生活の場を提供し、自立の支援を図った。

○山都生活支援ハウス10部屋 1名入居（3月末現在）

○高郷生活支援ハウス 7部屋 1名入居（3月末現在）

(5) 高齢者生産活動センターの管理運営

「高齢者生産活動センター」を拠点とし、高齢者のコミュニティが一層拡大されるよう利用者の加入促進及び各グループの技術向上を図りながら、生産性の向上、販売先の開拓に取り組んだ。

新型コロナウイルスの感染拡大により市内のイベントの多くが中止となるとともに、委託販売先でも観光客の大幅な減少により販売実績は大きく落ち込んだ。

また、10月に開館40周年を迎え記念誌を発行し、関係機関、関係者に配布し活動センターの事業活動のPRに努めた。

令和2年度会員登録者数 128名 （※昨年度 134名）

***新型コロナ緊急事態宣言等により4/22～5/31まで活動休止**

3. 介護保険事業

***** 別 掲 *****

本会介護事業では、新型コロナウイルス感染対策として、マスク着用、消毒や換気の徹底を行うとともに、職員及び利用者に対しても家庭生活で家族ぐるみでの感染予防の取組について協力要請を行ってきた。

また、介護保険法の趣旨に則り利用者や家族の行動（首都圏や感染拡大地域との往来など）によって利用を制限することなくサービスを実施した。

I 地域福祉部門

1. 地域福祉事業

(1) 福祉活動支援金制度への理解と協力

自主財源となる福祉活動支援金の充実を図るため、行政区長会連合会並びに行政区に対して理解と協力を努めた。

福祉活動支援金実績額：6,384,274円

(2) 地域福祉活動計画の推進

地域福祉の推進を図るために策定した地域福祉活動計画について、進行管理と評価に関することを所掌する推進委員会を設置し、10名の委員を委嘱し開催した。

推進委員会：令和3年3月29日開催

(3) ふれあいきたかた社協まつりの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) おもちゃ図書館事業の推進

全ての子供達が、おもちゃや本を通して人間性豊かに成長することを支援するとともに、保護者に交流の場を提供している。

本所	3月末利用人員延	<u>2,124名</u>	開館日数	<u>80日</u>
熱塩加納支所	3月末利用人員延	<u>113名</u>	開館日数	<u>12日</u>
塩川支所	3月末利用人員延	<u>542名</u>	開館日数	<u>39日</u>
計	3月末利用人員延	<u>2,779名</u>	開館日数	<u>131日</u>

・子育て支援事業（子育てイベントの実施）

おもちゃ図書館の開催にあわせて、季節ごとのイベントを実施した。

<本所・総合福祉センター>

	内 容	参加者
4月	こいのぼり製作	中 止
5月	たのしい人形劇	中 止
6月	ベビーマッサージ	23名
7月	七夕製作	23名
8月	ミストシャワー（計6回）	延224名
9月	親子交通安全教室	27名
10月	バス遠足	中 止
〃	リズム遊び	24名
11月	親子運動会	40名

12月	クリスマス製作	42名
1月	たのしい人形劇	25名
2月	豆まき	29名
3月	ティピーテント製作	37名

<熱塩加納・・夢の森>

	内 容	参加者
4月	初顔合わせカフェ	中 止
5月	身体測定	中 止
6月	手形アート	4名
7月	七夕製作	7名
9月	身体測定・リズム遊び	4名
10月	ハロウィン制作	4名
11月	本の読み聞かせ	6名
12月	クリスマス制作	10名
1月	団子刺し制作	10名
2月	ひな人形制作	10名
3月	手形アート作製	12名

<塩川支所・・いきいきセンター>

	内 容	参加者
10月	ハロウィン	8名
12月	クリスマス会	26名
1月	豆まき	16名
2月	ひな祭り	14名

○キッズスペースの設置

おもちゃ図書館開館以外の日でも、子どもや子育て中の保護者同士が交流できる居場所として、常設のキッズスペースを総合福祉センター及び塩川いきいきセンター内に設置した。

- ・本 所 日曜日～金曜日 9：00～16：30
3月末延利用者数 498名
- ・塩川支所 火曜日～金曜日 9：00～16：00
3月末延利用者数 88名

(5) 心配ごと相談所の開設

市民の日常の心配ごと、困りごとの相談を受けることにより、市民一人ひとりが安心して暮らせる地域社会づくりに寄与するため、本・支所において心配ごと相談所を

開設した。

内訳：本所 46件、塩川3件、高郷4件

(6) 日常生活自立支援事業（あんしんサポート）

認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用に関する援助や日常的な金銭管理等を援助し、地域で安心して生活することができるように権利擁護を図った。

3月末実利用件数 10件

相談援助件数 213件

(7) 高齢者生きがい対策事業の実施

①陶芸教室の開催（塩川支所）

生きがいセンターを拠点に陶芸教室を開催し、高齢者のいきがいつくり、仲間づくりを支援した。

会員数 38名（延べ 587名） 活動日数 80日

②一人暮らし高齢者等支援事業

買い物代行支援事業の実施（高郷地区）

実施回数 3回（5月15日、5月22日、5月29日）

利用者 高郷地区内に在住する一人暮らし高齢者 5名

買い物支援事業の実施（高郷地区）

実施日 11月13日（金）

参加者 高郷地区内に在住する一人暮らし高齢者 8名

(8) 福祉と介護の出張講座

喜多方市内の学校や団体等の要請に応じ、福祉に関する講座へ職員の派遣を行った。

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| ・岩月公民館 | 令和2年9月6日 | 参加者： 13名 |
| ・福島県立喜多方高等学校 | 令和2年10月12～14日 | 参加者： 124名 |
| ・中央公民館 | 令和2年10月15日（木） | 参加者： 18名 |
| ・会津医療生活協同組合 | 令和3年3月11日（木） | 参加者： 11名 |

(9) 福祉団体の育成支援

少子高齢社会の急激な進行と地域における連帯感の希薄化が進んでいる今般の現状を踏まえ、市民主体の活動を支援するため市内で活動している福祉団体の事務局として、育成支援を行った。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1) 民生児童委員連合会 | 2) ふれあい福祉協議会 | 3) 老人クラブ連合会 |
| 4) 赤十字奉仕団 | 5) 日本赤十字社有功会 | 6) 手をつなぐ親の会 |
| 7) 身体障がい者福祉会 | 8) 福島いのちの電話 | 9) 瓜生岩子刀自顕彰会 |
| 10) 更生保護協議会 | 11) 遺族会連絡協議会 | |

(10) 車椅子貸し出し事業

高齢者や障がい者の家族旅行や外出など短期間の車椅子使用に対応するため、無料貸出を行った。

貸出件数 31件 (喜多方16件、塩川10件、山都4件、高郷1件)

(11) NPO法人日本入れ歯リサイクル協会への協力

不要になった入れ歯を回収し、精製した貴金属をユニセフ募金を通して世界の子どものために役立てる活動に協力した。

精製貴金属量 439g

(12) 法人後見調査研究委員会

高齢化が進行し権利擁護の必要性が増している本市の状況を踏まえ、本会における法人後見事業への取組み検討を行うため、職員を委員とする調査研究委員会を設置した。

調査研究委員会 7回開催

先進地視察 1回(南会津社会福祉協議会)

2. ボランティアセンター事業

(1) 福祉に関する登録ボランティアコーディネート

地域の福祉ボランティアの活動拠点として、ボランティアやニーズの登録等の体制整備を行ったが、新型コロナウイルス感染症対策のため当面の間、受付を中止とした。

(2) 児童・生徒のボランティア活動普及事業の推進

① ボランティア活動普及事業協力校指定事業

市教育委員会、各学校の協力を得て、心豊かな児童・生徒を育成するためボランティア活動普及事業協力校の指定及び活動を積極的に推進した。(市内小・中・高校)

○市社協の指定校 第一小学校、第二小学校、松山小学校、上三宮小学校、第三小学校、関柴小学校、熊倉小学校、豊川小学校、慶徳小学校、熱塩小学校、加納小学校、堂島小学校、塩川小学校、姥堂小学校、駒形小学校、山都小学校、高郷小学校、第一中学校、第二中学校、第三中学校、会北中学校、塩川中学校、山都中学校、高郷中学校
喜多方高校 喜多方東高校 耶麻農業高校

※交付額 50,000円(1校につき)

○モデル校事業

ボランティア活動普及事業協力校の一層の活性化と、その取組みがモデルとなり、

他校へ波及させることを目的に、毎年小学校1校・中学校1校をモデル校として指定（指定期間は2年間）し、また、事業推進にあたっての連絡調整を行った。

塩川小学校、会北中学校（令和元年度・令和2年度）

(3) サマーショートボランティアスクールの実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 傾聴ボランティア事業

①養成講座 ②傾聴ボランティアのコーディネート

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(5) 除雪ボランティア事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(6) 朗読・点訳ボランティア事業

①視覚障がい者を対象にした『声の広報』の編集・発行

朗読ボランティア「せきれいの会」の協力を得て、ボランティア会員が総合福祉センター録音室で、広報きたかたを朗読しテープに録音したものを、『声の広報』として希望者に郵送した。また、物語等も同様に録音し、『声の広報』と一緒に郵送した。

○毎月1回・利用者 5名 朗読ボランティア 7名

②点訳ボランティアの養成

点訳サークル「eyeの会」が実施する定例の「点訳勉強会」や点訳物の作成活動に対し、活動支援を行った。

○毎月1回・会員数5名

(7) 福祉レクリエーションボランティア事業

【福祉レクリエーションボランティアのコーディネート】

市内のサロン及びミニサロン等を活動の場として、福祉レクリエーションボランティアのコーディネートを実施した。

ボランティア登録者数 7名(2グループ)

ボランティア活動回数 6回

(8) 子育て支援ボランティア事業

【子育てボランティアのコーディネート】

本会で実施しているおもちゃ図書館を活動の場として、子育てボランティアのコーディネートを実施した。

ボランティア登録者数 3名

(9) ボランティア啓発講座

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(10) 児童生徒の福祉作文集『ちいさなて』の発行

喜多方市市教育委員会との協議により発行中止

(11) 手作りマスク作成ボランティア事業

新型コロナウイルス感染症の影響による全国的なマスク不足に対し、「こんな時だからこそ、みんなで支え合おう！」を合言葉に、在宅でもできるボランティア活動として手作りマスク（こども用）作成ボランティアを募集し、令和2年4月27日に喜多方市こども課を通して市内児童へ配布した。

ボランティア数 延べ68名

作成枚数 計625枚

(12) 新聞紙エコバッグ作成ボランティア事業

令和2年7月より環境問題等の対応のため、全国的にレジ袋有料化が実施された。

このことに伴い、本会としてエコ活動への取組みとして、市民の協力により新聞紙エコバッグを作成し、市内スーパー8店舗に設置した。自宅にある材料で、コロナ禍でもできるボランティア活動として、地域での支え合いの推進を行った。

ボランティア数：個人 延べ64名 団体 延べ22団体

作成枚数：3,163枚

(13) 福祉ボランティア等活動事業

かたくり荘清掃ボランティア（高郷地区） 1回実施 39名参加

(14) 資源回収の取組み（エコキャップ）

ポリオワクチンを開発途上国に贈るエコキャップ運動に賛同し、市内の学校、事業所、個人からの寄託を受け、回収業者へ納入するための支援を行った。

業者へ納入したエコキャップ 2,174キロ（ポリオワクチン換算 1,087人分）

(15) 災害ボランティアセンターの運営及び活動支援

災害時に災害ボランティアセンターを設置し、住民に対する円滑な生活支援を行えるよう体制整備を行った。

○令和2年4月1日 喜多方市と災害時における災害ボランティアセンターの設置及び運営の協力に関する協定の締結

3. 生活支援体制整備事業（地域包括ケアシステム推進）

地域における支え合いのまちづくりを推進するため、地域の生活実態、ニーズの把握に努めるとともに、支え合いの仕組みを住民主体で話し合う場「生活支援支え合い会議」の設立に取り組んだ。

（1）第2層生活支援コーディネーター業務

- ・地域ごとの生活実態、たすけあいの現状と福祉・生活課題の把握に努めた。

項目	件数
訪問	293件
来所	55件
その他	322件
計	670件

- ・地域の社会資源の開発

高齢者のいきがいと健康づくりに供するサロン拡充のため、喜多方地区ふれあい福祉協議会と連携による地域懇談会を開催し、塗物町のサロン新設に取り組んだ。

（2）第2層生活支援支え合い会議の新規設置及び設置に向けた取り組み

<高郷地区> 令和2年8月7日設置

高郷地区生活支援支え合い会議 愛称「さすけねえ高郷」

- ・設立に向けた説明会及び準備会 24回
- ・生活支援支え合い会議の委員数 18名
- ・生活支え合い会議の運営 5回

<上三宮地区> 令和2年12月23日設置

上三宮地区生活支援支え合い会議 愛称「おもいやり上三宮」

- ・設立に向けた説明会及び準備会 7回
- ・生活支援支え合い会議の委員数 28名
- ・生活支え合い会議の運営 2回

（3）第2層生活支援支え合い会議の運営、支援

<熊倉地区>

- ・熊倉地区生活支え合い会議 8回

熊倉地区は高齢化率が高く、また降雪量が多いことから、除雪支援について協議した結果、除雪支援隊が新たに1団体登録され、計4団体となった。

防災の研修会を通して除雪支援や予約型乗合交通について話し合いを行った。

<熱塩加納地区>

- ・熱塩加納地区生活支え合い会議 12回

熱塩加納独自の歌詞や介護予防体操を作成し、CD・DVDの完成により介護予

防体操の普及を図った。また、買い物の資源の情報収集を行い、買い物支援について話し合いを行った。

<山都地区>

- ・山都地区生活支え合い会議 5回

地域の福祉課題を見つけるため「山都に住み続けるために楽しく生活していくには」と題して研修会を行いながら、今後の活動について話し合いを進めている。

<駒形地区>

- ・駒形地区生活支え合い会議 8回

集いの場や除雪等に関する事や移動手段など課題ごとに意見をまとめ、勉強会を行いながら話し合いを進めている。

<高郷地区>

- ・高郷地区生活支え合い会議 5回

地域に住んでいて思うこと、感じていることを話し合い、地域の課題を考え、デマンド交通や集いの場についての勉強会を行っている。

<上三宮地区>

- ・上三宮地区生活支え合い会議 2回

おもいやりにあふれる地域をつくるため、地域の今を知るための住民アンケートを行うこととしており、現在、設問について話し合いを行っている。

(4) 他機関・団体等の連携

- 高齢福祉課及び総合支所住民課との打ち合わせ及び連携
- 行政区長会、福祉団体及び地区公民館との連携
- PR活動 ※ラジオ番組出演
※社協だよりへの掲載（5月1日号・11月1日号・2月1日号）
- 会議等への出席 91回（包括連絡会への出席、ケア会議・地域ケア会議等、地区民生児童委員協議会、地域福祉活動計画検討委員会ほか）

(5) 「ふれあいいいききサロン」の開設（37箇所）

高齢者の交流を深め、助け合い・支え合いながら健康で楽しい生活を送っていたくことを目的に「ふれあいいいききサロン」の開設と運営を支援している。

松が丘いきいきサロン	喜多方	桜ガ丘いきいきサロン	喜多方
村松三区いきいきサロン	喜多方	清水台いきいきサロン	喜多方
関柴地区いきいきサロン	喜多方	東四ッ谷いきいきサロン	喜多方
ひばりが丘いきいきサロン	喜多方	上三宮二区いきいきサロン	喜多方
渋井いきいきサロン	喜多方	寺町いきいきサロン	喜多方

花園いきいきサロン	喜多方	譲屋いきいきサロン	喜多方
桜町ふれあいサロン	喜多方	菅原町ユーアイサロン	喜多方
幸町いきいきサロン	喜多方	栄町いきいきサロン	喜多方
上町いきいきサロン	喜多方	いなだいきいきサロン	喜多方
吉沢いきいきサロン	喜多方	(新) いきいきサロンぬりもの町	喜多方
野辺沢いきいきサロンたんぽぽ	熱塩加納	半在家いきいきサロン	熱塩加納
針生ひだまりサロン	熱塩加納	上窪地区いきいきサロン	塩川
柴城地区いきいきサロン	塩川	塩川地区いきいきサロン	塩川
別府いきいきサロン	塩川	ふなひいきいきサロン	山都
広野いきいきサロン	山都	千咲原いきいきサロン	山都
藤沢いきいきサロン	山都	館原いきいきサロン	山都
小布瀬原いきいきサロン	山都	寺内いきいきサロン	山都
宮古いきいきサロン	山都	上林いきいきサロン	山都
西黄地区いきいきサロン	高郷		

(6) ミニサロン等交付事業

福祉活動支援金を財源として、地域の絆を築く交流事業等に対して交付金を交付し活動の支援を図った。

ミニサロン等事業	10箇所
交流事業	4箇所
交付額計	144,000円

(7) 支部社協事業の活動支援

1) 支部社協活動への支援

安心して暮らせるまちづくりの形成を地域全体で推進していくための支部社協活動の推進に協力した。

支部名	設立年月日	支部名	設立年月日
慶徳支部	平成9年8月24日	関柴支部	平成12年3月12日
松山支部	平成10年3月14日	熊倉支部	平成13年10月10日
岩月支部	平成11年2月11日	上三宮支部	平成17年9月7日
豊川支部	平成11年7月21日		

2) ふれあいネットワーク事業（支部社協事業）

ひとり暮らし高齢者を対象として生活支援活動や見守り活動を行う「ふれあいネットワーク事業」を実施した。

・ネットワーク活動延べ件数 1, 649件

3) 支部社協代表者会議の開催

7支部社協の代表者による情報交換を行い、活動の充実を図る目的により代表者会議の開催を予定していたが、コロナ感染防止のため中止とした。

4. 地域包括支援センター事業

高齢者の方々が住み慣れた地域で要介護状態にならないよう予防対策に取り組むとともに、総合相談及び支援、権利擁護事業、ケアマネジメント支援を積極的に推進した。また、喜多方市高齢福祉課との連携を密にし、虐待や認知症等の困難ケースの対応を図った。

(1) 相談等の受付

相談・援助内容	相談件数 (延べ)	相談人数 (延べ)
① 介護予防支援事業に関すること	7, 773 件	2, 473 人
② 総合相談支援に関すること	3, 875 件	1, 337 人
③ 権利擁護事業に関すること	425 件	61 人
④ 包括的継続的支援に関すること	167 件	23 人
⑤ 実態調査	181 件	144 人
⑥ 苦情に関すること	3 件	1 人
合 計	12, 424 件	4, 039 人

(2) 介護予防等事業の実施

事業名	回数
介護予防事業（介護予防教室）、介護者教室等	20回
講師派遣、他団体への協力等	10回
街かど相談室、ケアマネ相談室	13回

(3) 喜多方市及び関係機関との連携及び協力

会議等名	回数
地域包括支援センター連絡会	10回
介護保険事業関連事業者連絡協議会（8部会）	18回
グループホーム運営推進会議	8回
地域密着型特定施設運営推進会議	11回

各地区民生児童委員協議会定例会	135回
権利擁護担当者会議、虐待対応会議	73回
専門職員研修会、会議等への参加	82回
介護相談員定例会	0回
老人ホーム入所判定会への出席	2回

1) 地域ケア会議（包括ケア会議・地域ケア会議）

高齢者個別のケースに対して、医療、介護等の多職種が協働して課題の解決を図るため、地域ケア会議を開催した。

開催回数 17回（3層個別ケア会議11回／2層包括ケア会議6回）

2) 介護予防支援計画

自立した日常生活を継続できるよう支援するため、介護予防のための健康増進を図り、また、介護が必要となった際の身体能力の維持・向上のため介護予防支援計画を作成した。

計画件数 5,950件

（うち委託件数） 1,335件

5. 生活サポートセンター事業（生活困窮者自立相談支援事業）

生活困窮者自立支援制度に基づき、喜多方市の要請を受けて生活サポートセンター事業を受託し、就業や生活上の不安、心配ごとを抱え経済的に困窮している方の相談に応じている。

また、支払いや負債などの相談に応じる家計改善支援事業を受託し、健全な家計に向けた支援を行った。

(1) 生活困窮者に対する包括的相談支援事業

(2) 家計改善支援事業

新規相談	179名
自立支援プラン 策定件数	70件
	家計再生プラン 26件
就労決定件数	22件
支援実施延べ回数	3,479回 (面接相談、電話相談、訪問相談、同行支援、 支援調整会議、他機関への照会等)

※なお、プラン策定にならない方に関しては、関係機関につなぐ等の対応をした。

(3) 住宅確保給付金の申請に係る相談、支援

離職等により経済的に困窮し、住居喪失又は喪失の恐れがある対象者に、住居費を支給する住宅確保給付金（受付、決定：喜多方市）についての相談や申請手続きの支援を行った。

令和2年度相談件数	46件
申請件数	25件

(4) 関係機関とのネットワークの構築と社会資源の開発

民生児童委員や福島県社会福祉協議会をはじめとする関係機関との連携を図り、生活困窮者相談支援の充実に努めた。

また、社会福祉法人や企業等を訪問し制度説明や就労支援についての周知を行い顔の見える関係づくりに努めた。

(5) 支援調整会議の実施

喜多方市社会福祉課及びハローワーク等と定期の会議を開催し、相談者の生活状況改善に向けて支援計画の検討や意見交換を行った。

令和2年度開催 10回

(6) 小口生活援助資金の貸付

低所得者の緊急な経済的問題を解決し、安定した生活が送れるよう資金を貸し付け、必要な援助指導を行った。

令和2年度新規貸付件数・額	40件（1,840,000円）
令和2年度未償還件数・額	62件（2,178,600円）

(7) 生活福祉資金（福祉資金、緊急小口資金）の貸付

福島県社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付事業の受付窓口として、申請受付等貸付の手続き支援を行った。

令和2年度新規受付件数 17件（7,973,000円）

(8) 高額療養費貸付事業

令和2年度貸付実績なし

(9) 就労体験事業

引きこもりや障がいなどから一般就労が難しい対象者に対し、就労や他者とのコミュニケーションを体験するとともに、生活リズムを整え一般就労に向けたきっかけづくりとするため、本会での軽作業の場を提供した。

就労体験事業実績 フードバンク仕分け、管理補助 2名 各1日

(10) フードバンク事業

コープ東北サンネット事業連合との協定（平成27年10月23日協定締結）による食料品の提供のほか、コープあいづ及び㈱カーブスジャパンのフードドライブ活動や(株)セブン-イレブン・ジャパン、ダイナムグループからの商品寄贈、市民からの寄附により食料品を確保し、生活困窮者に対し食料品の提供を行った。

令和2年度提供実績 90世帯（延べ158回）

※うち、18世帯に新型コロナウイルスの影響による学校休校に伴う
フードバンク品の提供を社会福祉課、こども食堂と連携し行った。

(11) 「こども食堂」への支援と連携

市内に2箇所となった「こども食堂」、子どもの居場所「れんが」との情報の共有を図り、未就学児・児童等を抱える生活困窮世帯への支援につなげるためフードバンクを通じて食料品の提供を行った。

こども食堂（2箇所） 延べ11回

子どもの居場所「れんが」 延べ 2回

(12) 生活サポートセンターの広報・周知について

生活サポートセンターの取り組みを広く理解いただくため、リーフレットを民生児童委員に配布するとともに、喜多方市役所・各総合支所及び社協本所・支所の窓口や関係機関を通して市民へ配布を行った。また、社協だより（年4回）への掲載や、FMきたかたの番組「茶の間のふくし」に出演するなどし、PR活動に努めた。

6. 東日本大震災・福島第一原子力発電所事故避難者に対する支援

(1) 避難をされている方への情報提供

大熊町をはじめから東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故により避難を余儀なくされている方に対し、喜多方市総合福祉センター2階に情報スペースを設置し、情報の提供に協力した。

7. 日本赤十字社への協力

(1) 人道・博愛を目的とした日本赤十字社事業に対して社資募集に係る協力、災害時の救援物資の配分、献血事業推進や高齢者支援活動等への協力を行った。

○社資実績額 7,140,423円

目標達成率 98.4%

○災害時救援物資配分件数 4件

8. 共同募金・歳末たすけあい運動への協力

行政区長会、民生児童委員協議会を始め多くの市民の協力を得て、民間社会福祉事業

の財源となっているこの運動に協力した。

コロナ禍を鑑み、市総合福祉センターへ募金ブースの設置や市内企業へ募金型自動販売機の設置推進等を行った。

- ・共同募金実績 6, 872, 219円
- ・歳末たすけあい募金実績 4, 384, 531円

9. 災害義援金

日本赤十字社及び共同募金会が連名で実施する、被災地の復興支援のための災害義援金について募集の協力を行った。

- ・令和2年7月豪雨災害義援金 220, 986円
- ・令和3年2月福島県沖地震災害義援金 70, 000円
- ・東日本大震災義援金 30, 000円

10. 新型コロナウイルス特例貸付

○緊急小口資金特例貸付（上限額20万円）

新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少がある世帯に対し、相談支援及び申請受付を行った。

令和2年度貸付件数 212件（38, 750, 000円）

○総合支援資金生活支援費特例貸付（単身世帯 月15万円以内、2人以上の世帯 月20万円以内を原則3か月以内）

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に対し、生活サポートセンターの申込登録と生活状況に応じた相談支援を行っている。

令和2年度貸付件数 147件（79, 900, 000円）